

## 地域密着型サービス事業所の自己評価項目（自己評価結果表）

（調査項目の構成）

### I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

### II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

### III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を生かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
  - (1) 一人ひとりの尊重
  - (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援
  - (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援
  - (4) 安心と安全を支える支援
  - (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり
  - (1) 居心地のよい環境づくり
  - (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり

### V. サービスの成果

#### ※記入方法

- 管理者が介護従業者等と協議し記入すること。
- グループホームの場合は、ユニットごとにその管理者が介護従業者等と協議し記入すること。
- 取り組みの事実を実施している内容、実施していない内容の両面から記入すること。
- 取り組んでいきたい項目に○を記入し、すでに取り組んでいることも含めて、取り組んでいきたい内容を記入すること。
- サービスの成果は取り組みの成果に該当するものを○印で囲むこと。

#### ※項目番号について

- 評価項目は、100項目です。

事業所名 グループホームなんごく

ユニット名 みつば

自己評価実施年月日 平成 19年 7月 4日

記録者氏名 合田 志乃

記録年月日 平成 19年 6月 20日

## 自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>理念を掲げている。</p> <p>○ひとりひとりの思いと暮らしを大事にする</p> <p>○やすらぎとぬくもりのある住まいを目指す</p> <p>○笑顔と思いやりのある心で接する</p>	<p>共に過ごす生活・温かみのある「我が家」を目指している。</p>
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>その人らしい生活を提供できるよう日々職員同士で話し合いながら取り組んでいる。個々の要望に応えられるように取り組み、室内での生活ばかりにならないよう散歩やドライブなどを取り入れ気分転換を図れるよう努めている。</p>	
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>理念を玄関先に掲示し、訪問者やご家族に理解してもらえよう努めている。また入居者・家族には入居の際に説明し、地域の方には地域行事などの際に理解してもらえよう取り組んでいる。</p>	<p style="text-align: center;">○</p> <p>地域の方に理解してもらえよう今後も行事などの交流の機会に話をしていく。</p>
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>地域行事への参加を積極的に行い交流を図っている。散歩の際に近所の方と話をしたり、いろいろな情報を教えて頂いたりしている。また、近所の方も気軽にくつろいで頂けるように玄関前にベンチを設置し、入居者の方と話をしたりと日常的に付き合っている。</p>	
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>地域の一員として地域行事への参加を心掛け、地元の方々と交流を図っている。</p>	<p style="text-align: center;">○</p> <p>今以上に地域の方々との交流の機会を設けていくよう努力をする。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	実際として取り組んでいることは無いが、地域の方や運営推進会議にて家族や近隣の方の困っていることに関して「どうしていったらよいか」等の相談を受けた際にはアドバイスしたりしている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自施設の現状を再認識すると共に自分たちのケアや取り組みを第三者の目で評価・指導されることで、今後の課題と取り組みを考え、よりよい施設に近づける第一歩と考えている。指導された内容を十分に把握し、今後の糧にしていく。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	グループホームでの取り組みについて話をしていく中でいろいろな意見やアドバイスをして頂き、今後の取り組みやサービスの向上に繋げている。又、運営推進委員会の内容は玄関に提示している。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の介護サービス事業所協議会においてグループホーム部会を開き、事例発表や勉強会を行いサービスの質の向上に取り組んでいる。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	個々で学び理解している職員もいるが全職員が学び知っているわけではない。現在、活用している方はいない。	○	職員全員が学び理解できる機会を持つていくようにし、必要な方がいつでも活用できるように努めていく。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	事業所として虐待防止についての勉強会を実施している。参加できていない職員に関しては個々に業務の中で管理者から職員に助言や動機づけを行っている。	○	十分に職員の理解が得られていないため、学ぶ機会を持ち、職員全員が見過ごす事の無いようにしていく。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居者や家族等と十分に話し合い、双方が理解・納得ができるように取り組んでいる。また、その際に分からない事や疑問に思った事などについてはいつでも相談してもらえようようにしている。	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者に日ごろの関わりの中で自分自身がどうしたいのか、不満や苦情はないかを聞くようにしている。現在、運営推進委員会において苦情や相談等を報告できていない。	○ 今後、運営推進委員会において苦情や相談等の報告を行うようにしていく。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	家族面会時に日々の生活や健康状態についての報告を行っている。また定期的に行事報告を兼ねて写真入りのグループホーム便りを発送するなどし個々に合わせた報告をしている。金銭管理に関しては希望のある方は家族と相談の上、お小遣い程度の管理を任せている。	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	公共窓口の紹介を行っている。管理者や職員に苦情や相談をして頂けるよう積極的に働きかけ、可能な限り対応している。また、直接表せない方には意見箱への投函を行って頂けるように玄関に設置している。	
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	それぞれの職員が、日々の業務等で気付いたことや、意見があれば話し合えるような体制をとっている。	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	入居者が起床してから入床するまでの生活を支えることができるような人員配置にしている。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	出来る限り職員の異動や離職の無いようにし、入居の方が不安な気持ちにならないように努めている。職員が代わる場合は馴染みの職員が一度に代わったりすることのないように配慮している。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19 ○職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員一人ひとりに合った研修を見極め、受講を勧めている。また、本人の研修参加の要望に答え、バックアップしている。		
20 ○同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他事業所との交流やサービスの質の向上のために合同の勉強会や研修を行っている。		
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み  運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	悩み事などいつでも相談にのり、助言できる体制作りをしている。		
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み  運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	一人ひとりの方向性を十分に把握した上で研修への参加を呼びかけたり学習する機会を設け、向上心を持って働けるよう努めている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	○初期に築く本人との信頼関係  相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居の依頼から入居決定までの間に本人と面接を行い、本人の心身の状態や思いを受けとめるようにしている。	
24	○初期に築く家族との信頼関係  相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居の申し込み時や入居前に家族と面接を行い、家族の思いや困っていることを聞き取り配慮している。	
25	○初期対応の見極めと支援  相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けた際にその方の状態や状況を聞き入れ、その方に合ったサービスや他の事業所の情報を伝え出来る限りの対応をしている。	○  十分に相談者の意向に対応しきれていないため、他のサービス・事業所と密に関わり、相談者の要望を一日でも早く実現出来る様努めていく。
26	○馴染みながらのサービス利用  本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に家族にホームの見学に来ていただく際、本人も同行して頂き、ホームで生活をしていくことについての本人の意向を確認するように努めている。	
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	共存しながら生活を送っていきけるよう、共に考え・支えあっているも時折押し付けた介護になっている場面が見受けられる。	○  介護をする一方の立場におかず一緒に過ごす事の意味を再認識出来るよう話し合い、職員の意識統一を図り、喜怒哀楽を共にし新たに支えあえる関係作りが出来るよう取り組んでいきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族に本人の状態の報告をした上で、ご家族の意向を確認しホームとしての対応や家族への要望等も話し、家族との関係を切らないようにしている。また、家族の悩みについても相談を受けている。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援  これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族関係についての話を聞いた上で、家族との関係が出来る限り途切れないように、面会や外出・外泊等の協力を求めている。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族に協力を仰ぎ、馴染みの方や場所に連れて行ってもらえるように働き掛けている。また、職員と共に出掛けられるように家族から情報を収集している。		
31	○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	職員が仲介し、出来る限り当人同士がお互いに声を掛けたり誘い合ったり出来る関係作りに努めている。散歩や家事等、共に生活を行っていく中で関係が築けている。		
32	○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	終了した場合であっても、意向・相談にのる旨を伝え、関わりを断ち切らないように努めている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1. 一人ひとりの把握</b>			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者一人一人の思いや暮らし方の希望を出来る限り引き出せる様、関わりを多く持ち把握している。	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人一人の生まれてからこれまでの生活や暮らしを家族や本人に聞き取り、生活暦の把握に努めている。	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日々の暮らしの中で、一人一人の出来ること・出来ないことを活かした活動を通じて、その人の有する力を見出している。	
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	本人や家族が求めている事の意向を聞き、個々の特徴を踏まえた上で出来る事を話し合い、それぞれの意見に添ったプランニングをしている。	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	実施期間終了前に見直しを行うとともに、状態変化が生じた際本人や家族の意向を取り入れ変化に応じた計画の見直しを随時行っている。	



項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の生活、発言や行動等、具体的な記録を心掛けている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族や入居者の要望に応じたサービスが提供できるように関連施設との連携を図り、支援している。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域住民には日々の生活の中で協力して頂いている事があるも、民生委員や教育機関等と協力しながらの支援は行えていない。消防に関しては、年2回の消防訓練の際に指導して頂いたり支援はある。	○	ボランティア等に支援を求め、協力を呼び掛けていくように努める。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	利用している方がいない。今後、家族と相談の上、検討していく。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現在協働出来ていない。	○	協働しながら取組んでいくように努める。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	24時間連携が図れる協力病院があり、月2回の往診診療も行なっている。その他でかかりつけの病院がある場合については、家族対応にて受診しており、情報の交換も行っている。		
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	協力病院は、専門医ではないが、気軽に相談できる。		
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護職員を位置づけており、入居者一人一人の健康管理や医療活用を行なっている。その中で、急変や事故が発生した場合には、すぐに看護職に報告・連絡・相談をし対応に繋げている。		
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	医療機関や家族とも情報交換や意見交換をし、早期退院に向け連携をとっている。		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	本人や家族と今後の意向やあり方について協力医と共に話し合いながら対応していく。		
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	その人らしく生活が出来るよう取り組み、その時々の変化に応じた対応を円滑に行なえるよう協力医と連携を図る。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>本人が安心して生活が送れるよう、入退居に関わる医療、福祉機関との情報交換を行えるよう、情報の提供や情報の依頼をしている。</p>	
<p><b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p>			
<p><b>1. その人らしい暮らしの支援</b></p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>出来るだけ相手の話を聞き個々を理解していく中でその方に合った言葉かけを見出していくように努めているも十分には行なえていない。子供用語などは使用しないようには心掛けている。個人の情報に関しては外部に漏れないよう管理を行っている。</p>	<p>○</p> <p>個々を十分に理解できておらず、その人に合った言葉かけや対応が行なえていない場面が見受けられるため意識の統一を行なっていく必要がある。</p>
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>日々の生活を共にし、寄り添い密に関わりを持つ中で、生き生きとした言動や笑顔を引き出せる様に、褒めたり、感謝したり、生活の中の場面によって言葉掛けを大切にすることによって、本人の思いや希望を表出し、自己決定出来る様に努めている。</p>	
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>入居者の希望を主に対応している。一人一人の行動やペースも違うが、その人に合わせた生活の流れを考慮している。食事・入浴・散歩等の生活を通じて、自己決定してもらっている。</p>	
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>外出着やおしゃれ着を持っている方には、それを着られるよう支援している。理美容に関しては本人より希望があった場合や職員から見て伸びや染めが気になってきたら、家族に働き掛けている。家族との関係が希薄にならない様に家族対応をお願いしている。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立については何を食べたいのかを問いかけ食材の皮むき等、下ごしらえを手伝ってもらったり、味見をしてもらったりしている。	○	十分に職員のアプローチが出来ておらず、一緒に行なえていないことが多い為、共に行なうことが出来るよう取組んでいきたい。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	家族と既往症などについても話をした上で、了承を得て嗜好できるよう支援している。		
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	パット使用者もいるが、トイレでの排泄が出来るように個々の排泄の間隔を把握し、声掛け・誘導をしている。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	本人の入浴希望を確認して誘導している。毎日入浴したい方は毎日入る事が出来るようにしている。ゆっくり入浴して頂けるように声掛けている。	○	入浴時間帯を午前中か午後にしており、夜間入浴の希望があれば対応していけるように取組んでいきたい。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	疲労や傾眠の強い方はベッドにて休んだり、落ち着かない場合には飲み物を一緒に飲んだり、環境を変えたり、個々に合わせた時間作りをしている。夜間安眠できるよう、日中離床を促し、散歩等の適度な活動を取り入れている。		
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	昔の生活歴を把握した上で、本人が何を好んで行なえるかを見出し、現状として実施できることを日常生活で取り組みとして実施している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理の希望がある方は、家族と相談の上、お小遣い程度の管理を任せている。		
61	○日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日々の生活の中で外気に触れる機会を作ると共に、本人の希望に添って散歩やドライブ、買い物などに出掛けられるよう支援している。		
62	○普段行けない場所への外出支援  一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	本人の意向に添えるよう出来る限り対応し外出したりしているも十分に対応しきれていないため、家族に協力を求め外出の機会を設けている。		
63	○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	自ら電話を使用する方はいないが電話を掛けたいとの要望があればいつでも使用できるようにしている。また、手紙のやり取りが出来るよう書く事や投函の支援をしている。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援  家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族・友人・知人など馴染みの人がいつでも自由に訪問して頂けるようにしている。訪問時には自室や談話室でゆっくりお茶を飲みながら話が出来るようにしている。		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践  運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員が正しく認識しており、身体拘束は行なっていない。何気ない言動にも気をつけ本人の意思を尊重し押し付けのないよう取り組んでいる。		


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	○鍵をかけないケアの実践  運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は施錠せず居室・玄関等、入居者の方がいつでも自由に入出りできるようにしている。		
67	○利用者の安全確認  職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中は本人の行動を抑制しないように見守りながら所在の確認を行ったり、様子を伺ったりしている。夜間に関しては物音がした際には必ず訪室し見守るようにしている。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理  注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	入居者の目に付かない場所を選び、保管場所を決めて保管している。		
69	○事故防止のための取り組み  転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	常に事故が起きないように努めている。転倒等の危険性のある方に関しては見守り・介助を行なっている。転倒や誤薬等が起こった場合、そのつど今後どのように対応していくべきかを考え事故防止に取り組んでいる。		
70	○急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	勉強会で学んでおり、応急手当を行ったり看護師が対応したりしている。定期的な訓練は行っていないが、いつでも再確認が出来るようマニュアルを作成している。		
71	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的に訓練を行い、災害に備え避難できるように努めている。地域の方にも災害の際には協力して頂けるよう呼び掛けている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い  一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	現在起こりうるリスク・今後起こりうるリスクについて家族に説明し、家族と共に考え・話し合いながらそのつど対応していくように努めている。		
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>				
73	○体調変化の早期発見と対応  一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	一人ひとりの体調の変化や異変の早期発見に常に努めている。いつもと様子が違うと感じたら、管理者・看護師・家族に報告し、記録に残している。職員全員が把握できるように努め、必要時には早めに医療機関に相談している。		
74	○服薬支援  職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の目的や副作用について十分に個々の職員が理解・把握が出来ていない。個々の薬に変更があった場合には把握出来るようそのつど伝達・確認するよう努めている。服薬に関しては管理をしており、服用時の確認を行なっている。また、症状などは小まめにチェックしている。		
75	○便秘の予防と対応  職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘の及ぼす影響を理解した上で、毎日排便の確認を行なっている。水分摂取や食物繊維を取り入れた食事や散歩を心掛けている。おやつには、ブルーベリーやバナナジュース等も出し、配慮している。		
76	○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	食後には、口腔ケアの声掛けと見守りを行ない、不十分な部分は支援している。入れ歯は週三回消毒を行なっている。		
77	○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	疾患の把握や体重増加を気に掛けて個々によって量やバランスを考えて提供している。また、入浴後や食事の際に水分摂取の声掛けを密に行なっている。夜間の覚醒時に水分摂取が行なえるよう居室にお茶を置き、いつでも水分が飲用できるよう対応している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	小まめな清潔、換気、加湿、リネン交換、手洗い、うがい等の清潔保持、また適度な室温を調整し、水分補給を行なっている。来客には、玄関先で手指の消毒を行なってもらっている。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板は肉・魚・野菜の用途に分けて使用し小まめに消毒している。調理用具は熱乾燥を行ない衛生管理に努めている。食材は週2回の買い物にて新鮮な物を購入し提供している。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	家庭の門と同じ作りとなっている。花壇もあり、玄関先にはプランターに花も植えている。外部の方が入りづらいとの意見もあったため、出来る限り門や玄関は開放し、安心して出入りが出来るよう対応している。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	照明は、ダウンライト等にて調節可能である。入居者が落ち着いて暮らせるようにその時々に応じて調整するようにしている。季節を感じられるようにその季節の物や花を置くなどしている。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	談話室にはソファや畳コーナーがあり、庭や玄関先にはベンチを設け、ひとりひとりの思いに添えるよう工夫している。		



項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	ベッド以外は全て本人が以前使っていた馴染みの 物や好みの物の持ち込みをお願いして持参して頂 くようにし本人が居心地よく過ごせるよう配慮し ているも、利用者の方によって何も持参されず生 活感のない居室になっている方もいる。	○	馴染みの物や好みの物を持参して頂けるよう家 族に依頼し、本人にとって居心地のよい部屋な のかどうかも検討しながら空間作りを行なって 行けるよう取組んでいく。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	外気を取り入れられる様に、窓を開ける・網戸に しておく等の工夫をしている。		
<b>(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	車椅子・シルバーカー・杖歩行者等が自ら行動が 出来るよう生活スペースを広くとっており、段差 などがないようバリアフリーとなっている。また 居心地よく過ごせる空間を確保している。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	分かると思われる事は積極的に取組んでもら い、分からない事はさりげない援助や声掛けを し、共に行なう事で出来る限り力を活かして暮ら せるように心掛けている。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	庭や玄関先にベンチを設置し入居者の方や家族等 がゆっくりと過ごせるように工夫している。ま た、畑に花や野菜を植え鑑賞したり収穫したり の活動が出来るようにしている。		

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

## V. サービスの成果に関する項目

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input checked="" type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
98	職員は、生き活きと働いている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input checked="" type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input checked="" type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】